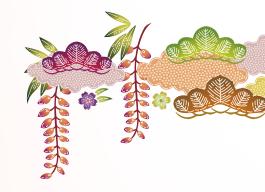


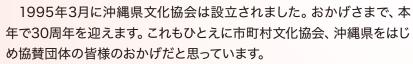
# 2025 September 2025 S



吉から棒術が伝承されたとされ、豊作祈願の中で奉納される字具志川の棒術。 直近では2023年に地域で披露された。かつては集落の男性総出で演じていたが、近年は 人口減少に伴い、少人数で演武構成を行い、伝統を継承している。字具志川では十年に一 度の周年行事として実施される貴重な伝統芸能とされる。



# 巻頭のことば



本年が奇しくも戦後80年の節目であることを考えるとき、30年前、戦後半世紀を経た時期に、全県的に文化協会を総括する団体が設立されました。戦後50年目の頃、沖縄県は戦争体験の風化を防ぎ、沖縄から平和文化を発信するため、沖縄戦終結50年を記念し、沖縄戦の終焉の地・摩文仁に「平和の礎」を建立しました。従来の慰霊碑とは異なるモニュメントである平和の礎は、敵味方問わず、沖縄戦で失われたすべての人々の名前を刻銘し、私たちに戦争で犠牲になった人々の存在を可視化し、悼むこころと平和を希求するこころをより強めることにつながっています。

平和を希求するこころ同様に、文化団体の「礎」も同様です。戦後沖縄における文化協会の歴史を紐解くと、戦後の混乱期であった昭和30年に本島中部でコザ市文化協会(現沖縄市文化協会)が設立され、本島中部を中心に沖縄の人々による文化創造の活動が始まりました。当時、戦後のアメリカ世の中の抑圧された社会において、文化創造の華が芽吹いたことはウチナーンチュの文化に対する深い愛を垣間見る思いがします。

戦後80年、この文化活動の輪は県内41市町村のうち31市町村(うち27市町村が県文化協会加盟)を数えます。そして先行する市町村文化協会の総意に基づき、この協会が設立されたことを考えるとき、文化をこよなく愛するウチナーンチュの草の根的な市井の人々の意思や市町村の支援に敬意と賛辞を贈りたいと思います。

30周年の節目の機会に、県文化協会は県下市町村文化協会や各地区連合文化協会のご指導、ご協力をいただき、各市町村文化協会や当会の活動を広く県民に周知するとともに新型コロナ感染症による疲弊した文化協会組織の基盤強化の機会を創出する事業を展開したいと考えています。





### **Contents**

巻頭の言葉	草 沖縄県文化協会 会長 與那嶺紘也
会員情報・	
自主事業	第28回・29回しまくとぅば語やびら大会 ・・・・・・11
自主事業	第7・8回U-18島唄者コンテスト · · · · · · 12
自主事業	沖縄県文化協会賞
	令和5・6年度 沖縄県文化協会授賞式・・・・・13
受託事業	令和5·6年度
	地域文化の継承・発信支援事業 ・・・・・・14
受託事業	令和5・6年度
	しまくとうば普及センター運営事業・・・・・・・15

### 国頭村文化協会

### 会長 大田佳孝 / 事務局長 宮里 光

国頭村文化協会は、新型コロナウイルスの影響で、令和元年度から令和4年度にかけてイベント活動が制限されていました。新型コロナウイルスが収束し始めた令和5年度から活動を再開する団体・サークルも増え令和6年11月11日(土)に「第15回国頭村文化協会舞台発表会」を開催することができました。発表会当日には、12団体の団体・サークルが参加し、会場を盛り上げました。令和6年度につきましては、北部豪雨災害の影響で、令和6年11月9日(土)を予定していた「第16回国頭村文化協会舞台発表会」が中止となりました。令和7年度の取り組みとしましては、国頭村舞台発表会の他、村内イベントへの出演機会も設け、国頭村文化協会を盛り上げていけるよう取り組んでいきたいと考えております。



第15回 国頭村文化協会舞台発表会

### 今帰仁村文化協会

### 会長 仲本義朗 / 事務局長 久田哲史

今帰仁村文化協会は、1999年(平成11)に「今帰仁古来の文化・伝統を再認識し、保存・継承を図り、更に新しい文化の創造も出来うる自由な組織づくり」



今帰仁まつり文化祭展示

を目的に設立され、今年で26年目を迎えます。

2023年度(令和5)からは、村民の皆様に地域の身近な文化に親しんで

もらおうと「ひやみかさな、今帰仁」を主催し、会員の発表の場、来場者への加盟団体等の紹介を行なっています。



ひやみかさな、今帰仁

また、今帰仁まつりでは文化祭部門として、舞台出演や作品展示を行い、来場者へ日頃の練習の成果を披露するとともに、2024年度(令和6)の舞台では「今帰仁ミャークニー大会」も開催しました。今後も、村の文化活動の益々の発展を願い、活動してまいります。

### 本部町文化協会

### 会長 饒平名知政 / 事務局長 (代理) 金城美佐子

2004年(平成16)に発足した本部町文化協会は、2024年度に20年の節目を迎えることができました。新型コロナウイルスの影響もあり周年事業をもつことができませんでした。文化協会を構成する部会は現在、琉球古典音楽部会や古典





第15回 本部町文化祭と、ロビーで開催の展示部門

舞踊部会、民踊部会、洋楽などを含む18団体で構成され、準会員も含め258名が活動しています。

2025年(令和7年3月)令和6年度文化協会が主催する第15回本部町文化祭では、もとぶ文化交流センターを会場に舞台部門では延べ20団体によって20演目が披露されました。入場料は有料にもかかわらず、300名を超える入場者数を数え、大変盛況を博しました。またロビーでは展示部門の書道部会、美術部会、写真部会、華道部会などによる展示活動が紹介され、文化協会会員による日頃の活動の成果を発表する機会になりました。

### 伊江村文化協会

会長 大城 強 / 事務局長 新城米広

伊江村文化協会は、令和 元年に発足して6年になり ます。発足した当時は、新型 コロナが流行し、主だった 活動が出来ませんでしたが、 現在では徐々に活動の場が 増え多くの人が集まっての 事業等を開催することがで





令和6年文化祭舞台

きるようになりました。令和6年4月に「第27回伊江島ゆり祭り」の舞台イベントに6団体が出演しました。12月の「第3回伊江村文化祭」の舞台発表には11団体、展示部門に3団体が出展し、文化祭の最後はカチャーシーで会場を盛り上げました。また、3月に行われた「さんしんの日」のイベントに、当協会の民謡研究所やサークルの4団体が参加しイベントを盛り上げました。昨年度同様に、北部連合文化協会の皆さんや県文化協会と連携し、村の文化振興の中心的な役割としてさらなる活動ができるよう取り組んでいきたいと思います。

## 名護市文化協会

会長 比嘉康夫(島袋 功)/ 事務局長 岸本ちさと

令和4、5年度は名護市文化祭展示部門と やんばる展(名護市、実行委員会などが主 催。北部12市町村参加の展示会)を統合す る目的でふたつのイベントを同時開催しまし た。しかし、互いの運営や組織の在り方の違 いを実感し、令和6年度の文化祭は従来通り、 会員の成果発表の場として開催しました。こ の2年を経て改めて文化祭のあり方を見直し、 展示部門を大幅リニューアルしました。



文化祭チャンプル舞台に古典芸能部門が 四つ竹で初参加



文化祭展示会場ミニステージに設置した横断幕

作品展示に加え、販売、ワークショップ、チャレンジ部門、ステージ体験 (舞台部門PR) など新たなレイアウトで会員以外にも参加しやすいようにしました。その中から、「フラワーアレンジメント」が新部会として設立されました。舞台では北部連合交流枠として今帰仁子供太鼓いまじんに出演してもらいました。今後もより多くの方々が文化活動を通し交流できる場を目指したいと考えています。

# 宜野座村文化協会

会長 津嘉山 朝政 (仲地 暁) / 事務局長 仲間盛雄

宜野座村文化協会は平成8年に設立され、現在では22団体が所属し、宜野座村の文化振興・発展を目的に活動しています。平成10年から継続して開催している文化祭は、昨年で26回を数え、各部会の活動を広く知ってもらう催し物となっています。





第26回文化祭展示部門では、書道部会による書道体験、手工芸部会によるゆび編み体験、絵画・イラスト部会によるチョークアート体験等の体験コーナーを充実させました。舞台部門では、昨年から新規加入したオカリナサークルによる演奏や空手の演武、古典音楽独唱、琉球舞踊など、多彩なジャンルを披露することができました。

今後も、益々元気に各部会の特色を活かした活動に取り組んでいきます。

### 金武町文化協会

### 会長 官野座清徳 / 事務局長 (代理) 仲間 仁

金武町文化協会会員数は200名 12部会が「みんなで育てよう伸び 行く力と香り高い文化のまちを」合 言葉に、令和5年、6年度、文化祭及 び各部会自主公演が開催されまし た。

令和5年度、第16回金武町文化 祭では展示部門、舞台部門、子供 芸能発表会が開催され、自主公演



令和6年度文化祭展示部門



金武町子ども芸能発表会

においては、八重山芸能部会が第2回定期公演、古典芸能部会においても第1回古典七踊りの会が開催されました。文化祭、自主公演には多数のご来場があり毎回大盛況です。町民をはじめ文化協会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、令和6年度、第17回金武町文化祭では展示部門、舞台部門で開催されました。子供芸能発表会は令和7年2月22日に開催されました。自主公演においては、八重山芸能部会が第3回定期公演、金武町地謡研修部では若手育成・継承発表会が開催されました。

### 恩納村文化協会

### 会長 池宮城秀光 / 事務局長 名城一幸 (吉田真悟)

恩納村文化協会は、平成5年に創立され今年で32年を迎えます。新型コロナウィルス感染症の猛威により、各事業や総会までが中止となりましたが、同感染症も落ち着き通常の事業展開が行えるようになりました。現在、当文化部会は15部会に本年度加入したダンス部会を含めて16部会となりました。

令和6年度の文化祭においては、



令和6年度文化祭開幕



奉納演奏恩納松下

OIST (沖縄科学技術大学院大学) の地域協力のもとプログラムの目玉として、インド舞踊を披露して頂きました。初めて見るインド舞踊に、来場された方々は大いに感動されておりました。 本年度の文化祭も、色々なプログラムを行っていきたいと思っております。

恩納村文化協会は、会員の高齢化にともない会員数が減少傾向にあり、新会員の加入も少ない状況下ですが、各会員は活動を通して、人生をエンジョイし特技の発表により視聴する人たちに楽しみと感動を与え、文化の向上発展に寄与しているものと思います。関係各位、会員のご協力のもと、今後も歩み続けてまいります。

# うるま市文化協会

# 会長 吉田 治 (比嘉敦子) / 事務局長 仲間 稔

令和6年度は平成17年4月にうるま市文化協会が合併創立してから20年になりました。令和6年度の各事業が20回目に当たることから創立20周年記念事業の冠をつけて、例年と違う演出で取り組みました。まず、8月上旬の「しまくとうば語やびらうるま市大会」に大人を特別ゲストに出演して頂き、子ども達に刺激を与えることができました。8月下旬の「子ども文化祭」においては、表舞台で活躍する市内の子ども達でサックスディオやブレイキン全国大会優勝者やダンススタジオや各高校等で活躍するダンス部等の子ども達を特別ゲストで出演して頂き、素晴らしい公演発表をすることができました。最後に、「新春芸術祭」では、初のカラオケ歌謡祭を開催したところ多くの会

「新春芸術祭」では、初のカラオケ歌謡祭を開催したところ多くの会員が参加し、素晴らしい歌声を発表することができ、来年も開催して欲しいとの声がたくさんありました。今年度も昨年の経験を生かして、文化協会に注目が集まるような事業を実施していきたいと思います。



新春芸術祭でのカラオケ歌謡祭

# 沖縄市文化協会

### 会長 比屋根清隆 / 事務局長 宇良宗純 (副会長兼 渡慶次秀峰)

令和6年度の沖縄市文化協会は、創立69年目になり芸術文化の創造と 伝統文化の継承及び発展に寄与する事とともに心豊かなくらしをめざして 「未来への創造・躍進する文化」のスローガンを揚げて事業を押し進んで おります。

今年度は【第47回記念文化祭】として、展示部門は令和6年11月22日 (金)から24日(日)の3日間、沖縄市体育館にて華道・茶道・美術・写真・陶芸・書道・盆栽・琉歌・文芸・フラワーデザイン・工芸1.000点を超える作品展示ができました。

舞台部門では令和6年11月2日(土)から令和7年2月9日(日)までに11 部門9公演が、「市民小劇場あしびなー」を中心にハワイアン・古典芸能・空手古武道・民謡・合唱・歌謡・大正琴・しまくとうば・日本舞踊・童謡・ピアノなど日頃磨き上げた「技」を舞台いっぱい繰り広げ実施する事ができました。



第45回ピアノコンクール受賞者



ハワイアンカルチャー部

# 読谷村文化協会

### 会長 仲里義光 / 事務局長 長浜真輝



子ども文化祭がんばるにゃー



新春祝賀パーティー年間受賞者

多くの出場者で盛会となり、中部地区・県大会出場者も輩出しました。令和6年度からは若者主体のダンス部会が新設され、新たな活気が生まれています。会員数は減少傾向ながら、本年度開業予定の総合情報センターでの発表機会の創出を見据え、さらに多様な世代が文化に親しむ場づくりを目指します。

# 嘉手納町文化協会

### 会長 新垣満保 / 事務局長 比嘉裕美子 (伊波恒博)

嘉手納町文化協会は 平成3年(1991)8月に 発足しました。現在は21 部204名の構成員で活 動を行っています。毎年 恒例の嘉手納町総合文 化祭は1月末頃に嘉手納 町文化センターを会場



令和6年度文化祭のチラシ

に展示と舞台を披露し、日ごろの活動の成果を紹介しています。文化 祭は約600名が参加する当協会主催の一大イベントです。また、しま



嘉手納町文化祭の舞台

くっば語やびら大会 (7月下旬) や嘉手納町が主催する最も大きなイベントである「總管まつり (10月初旬・海浜公園)」には内外から多くの方々が参加します。当協会の部会も積極的に協力し、華やかに舞台を盛り上げています。会員の高齢化の課題は全県的な共通の課題がありますが、文化協会の活動をいかに広報周知することで、会員を増やすために積極的に広報活動に努めています。

# 北谷町文化協会

### 会長 桃原雅子 / 事務局長 常眞杏菜

北谷町文化協会は、創立40周年を迎えました。

設立当初6部会でスタートした当文化協会 も、現在は古典芸能・民踊等の舞台部門が 16部会、書道・盆栽等の展示部門が7部会、 約400名の会員の文化団体として成長致し ました。これも支えて下さった皆様のおかげ







しまくとぅばオンステージ

です。心より感謝申し上げます。総合文化祭は、舞台発表・総合展示・こども芸能祭を11月に予定しております。

しまくとうばオンステージは、小学生から大学生まで40名余を中心に琉球史劇に挑戦しました。元気溌剌のステージに感動、満場のホールは興奮の渦に包み込まれました。

創立40周年記念式典では、たくさんの方々を表彰し、町長をはじめ来場の皆様と「北谷音頭」を踊り、会場一体となって賑わいました。

今後も個性豊かな地域の文化創造に貢献できますよう、会員一同と頑張っていきます。

# 北中城村文化協会

### 会長 花城清長 / 事務局長 大屋みゆき

北中城村文化協会は、令和5年度・6年度共に全ての主催事業を実施することができました。令和3年度に年度途中で主催事業が1つ増え、予算的にはかなり厳しい状況でしたが、関係各位のご協力の下、無事実施することができました。会員の減少や会員の高齢化に伴い、休会の部が増えたり、会員数が減少したりと悩みを抱えておりましたが、まず、三役に若い人を呼び込もう!と新体制で臨んだ令和5年度で



役員研修(名護博物館)



前週祭のフラ

した。それが功を奏したのか、少しずつ若い会員の活躍が目立ってきました。また、若い会員だけではなく、特に目立ったのが陶芸部の80代の会員の皆さんです。令和5年度の沖展の陶芸の部でプロ2人、アマチュア3人 (80代) が入選。令和6年度においても、3人のアマチュア (80代) の皆さんが見事入選を果たしました。書芸においても多くの方々が入選を果たしました。その他、沖縄県指定無形文化財への認定、沖縄県功労者表彰、しまくとうば普及功労、全国的にもジャーナリスト基金大賞受賞など県内外での活躍が目立ちました。老若男女幅広い活躍が当文化協会だけでなく、北中城村にも活気をもたらしていると自負しています。今後も模索しながら活気ある文化協会作りに邁進してまいります。

# 中城村文化協会

### 会長 仲松正敏 / 事務局長 渡久地 真

中城村文化協会は文化協会独自の発表会が開催できてないことが課題でしたが、令和4年11月27日に第1回「護佐丸の響き」、令和6年11月24日に第2回「護佐丸の響き」を開催することができ、村内外からご来場いただきました。

第1回から第2回開催では



第2回 護佐丸の響き



展示部門

2年越しの開催でしたが、毎年開催してほしいとのお声もあり、年に一度の事業として行う事になりました。また、休部する会員が増えているのも現状です。この状況をどのように解決していくかが今後の課題と思っております。

# 宜野湾市文化協会

### 会長 城間盛久 (上原伸浩) / 事務局長 玉城 悟

宜野湾市文化協会は昭和59年「継承・創造・発展」をスローガンに設立され、今日まで市の文化振興発展のために営々と歩み続けてまいりました。令和6年度に創立40迎えました。現在は約700名の会員を有し、これま



岩国市文化協会70周年記念公演に出演



台湾公演のフィナーレで三方礼をする城間会長

で県内の他文化団体との交流のみならず、県外の文化団体との交流等を実施しております。

令和6年9月には岩国市文化協会創立70周年記念公演「華奏麗舞 (かそうれいぶ)」に古典芸能部会が賛助出演しました。また、同年11月には台湾南部・嘉義県にある国立故宮博物院南部院区 吉仙ホールにて琉球舞踊特別公演に出演いたしました。今年度 (令和7年) は約2年間改修工事により利用できなかった市民会館も使用できるようになり、設立40周年記念となる宜野湾市文化祭を盛大に開催する予定です。

### 浦添市文化協会

### 会長 銘苅良光 / 事務局長 (代理) 大嵩るり子

昭和57 (1982) 年3月1日設立された浦添市文化協会は、令和3年11月27日に創立40周年記念式典を開催しました。

コロナ禍の中での周年事業のため、「浦添市の文化の未来に夢を-50周年を展望して一」と記念座談会を開催し、創立



中部連合文化協会文化講演会(浦添市で開催)



ぶくぶく茶の実演

40周年記念誌を発行しました。50周年に向けて「結」の心を大切に、行政・関係団体と連携を強め、文化の華が咲きわたる地域づくりに繋がる活動を展開していきます。

文化協会の主な活動は、11月に浦添市美術館とアイム・ユニバース・てだこホールで開催される文化祭で、19部会の会員の作品展示や舞台発表です。他に、会員親睦スポーツ大会、役員・幹事・評議員研修会、文化講演会、受賞者祝賀会が主な行事です。 浦添市文化芸術振興事業として、地域自治会で「気軽にクラシックコンサート」や「村まわり組踊・琉球舞踊」も開催しました。

# 西原町文化協会

### 会長 喜納昌盛 / 事務局長 山里勝也

西原町文化協会は、平成2年(1990)に設立され、舞台部門6部会・展示部門5部会の活動から始まり、今日では舞台部門13部会・展示部門5部会の18部会に増えました。事業として次のとおりです。

1. 隔年毎の文化祭開催 (展示・舞台)、2. 隔年毎の 子ども文化祭開催、3. 町内小



第17回 西原町文化祭(組踊)



第17回 西原町文化祭(展示部門)

学校へのクラブ活動等指導(しまくとうば・書道・筝曲)、4. 各部会の発表会・研修会、5. 各年毎の「西原まつり」出演 今年度(令和7年)は10月「西原まつり」、11月「子ども文化祭・合同展」、2月「全体研修会」を予定しています。課題の会員減少をくい止める工夫に努め、若い世代に文化芸術を受け継いでいく人材育成活動にも積極的に取組んでいます。

# 那覇市文化協会

### 会長 崎山律子 / 事務局長 野原 巴

最新のニュースとして去る3月12日に令和5年・6年度の、叙勲や県功労賞などの各賞受賞者22名2団体の合同祝賀会を那覇市職員厚生会館で挙行いたしました。祝賀会では去る3月に文化庁100年フードに認定されたブクブク一茶がふるまわれ、和やかに式典が執り行われ、表



令和5·6年度 受賞者合同祝賀会



文化庁100年フード認定(ブクブクー茶)

彰を受けられた会員との懇親を深めました。

また、当協会の最大行事で、会員が総力をあげて取り組む「あけもどろ総合文化祭」において、各部会発表会場で寄付を募り、 5年度は能登半島地震へ(40万円)6年度は北部豪雨へ(33万円)をそれぞれの関係団体へ寄贈しました。

令和5年度には当会会員で構成する「那覇市文化協会30周年記念誌」編集委員会が設置され、読み継がれていく記念誌にしたいと編集委員ががんばり、会議も20数回行われ、令和6年3月に計画通りの内容の記念誌が発刊されました。

## 豊見城市文化協会

### 会長 玉那覇昭二 (伊佐不二男) / 事務局長 高良優 (又吉康和)

豊見城市文化協会は、令和5年には創立30周年を迎え、記念事業を通して協会の歩みを振り返る機会となりました。

令和6年正月には市役所での仕事始めにあたり豊年を祈願する初興し(はちうくし一)に参加し、琉球舞踊や古典音楽を披露して新年を祝いました。市民や職員に喜ばれ、地域の文化継承と活性化に貢献しています。今後も伝統文化と新たな文化の融合を図りながら、地域に根ざした活動を続けてまいります。



第31回 総合文化祭

# 八重瀬町文化協会

### 会長 金城光子 / 事務局長 比嘉 修

八重瀬町文化協会は、平成 18年八重瀬町誕生を機に旧 東風平町、旧具志頭村両町村 文化協会が合併し設立しまし た。設立当初から、会員相互 の親睦や技術向上はもとより、 町民の文化活動の推進に努 めて参りました。コロナ禍に おいては、沖縄環境科学セン



やえせ文化フェスタ2024 with プロジェクションマッピング



やえせ文化フェスタ2025 ステージ&カフェ

ターの協力を得て飛沫対策を講じ、国立劇場おきなわにて会員による舞台発表の映像収録事業を実施、またコーラス部会活動30年の歩みを記した記念CDを製作し町内機関へ配布しました。

令和4年度からは「やえせ文化フェスタ」と題し、総合芸術祭を実施しています。プロジェクションマッピングと芸能を融合させた舞台演出や「ステージ&カフェ」と称し、会場内に設置した飲食店で利用できる500円クーポン付き入場チケットを販売する舞台と飲食を共に味わえる新たな舞台企画を行い来場者から好評を得ました。

# 南城市文化協会

### 会長 玉寄英一(照喜名智)/ 事務局長 城間盛善

平成13年(2006)に佐敷町、知念村、大里村、玉城村の1町3村が合併して発足した南城市文化協会は、現在480名を数え、古典音楽部三線部をはじめ100名を超えるハワイアンカルチャー部など19部会で構成されています。

主だった行事には、10月に開催される芸能 公演、南城市かいされ一大会をはじめ、1月の 総合文化展を開催するなど地域文化の活性化 に努めています。令和6年6月に琉球古典音楽



誠一つ」照喜名朝一翁之像建立チャリティー公演



第1回 南城歌謡フェスティバル

の人間国宝である照喜名朝一翁之像建立チャリティー公演では照喜名朝一翁之像建立期成会へ100万円の寄付を達成しました。 また8月には第1回南城歌謡フェスティバルを開催し、協会員30組が参加。会場にも多くの来場者を数え盛況を博しました。

令和8年度 (2026) には南城市文化協会は設立20周年の節目を迎えます。会員一同、力を結集して地域文化の振興、向上に努めていきたいと考えています。

### 与那原町文化協会

### 会長 上地政春 / 事務局長 中本きよみ

令和5年度は、役員執行 部会の連絡体制を強化す るため定期総会において、 これまで評議委員について 各専門部会の部長1名から 副部長を含めて2名体制と し、原則毎月第1水曜日に 定例評議委員会を開催する ことを確認しました。本定 例会を開催することにより



定期総会



令和6年度 文化祭

各種事業展開が非常にスムーズに実施することができるようになりました。令和6年度のメインである「与那原町文化協会主催文化祭」もオープンセレモニーを始めこれまでにない大盛況に終えることができました。今年度 (2025) から新規部会も開設され各部会一丸となって文化事業を盛り上げて行きたいと考えています。

# 南風原町文化協会

### 会長 與那嶺俊和 / 事務局長 神里操也

南風原町文化協会の令和5年度・6年度の主な事業は、4月の定期総会、6月23日慰霊の日「鎮魂の奉納」平和コンサート、11月の総合文化祭、12月の受賞祝賀会(令和6年度は3月開催)、1月の新年会、2月の子ども文化祭を開催し、11月の総合文化祭、2月の子ど



令和6年度 総合文化祭 第18回 南風原文化祭



令和6年度 子ども文化祭

も文化祭の舞台については、YouTube配信を行いました。また、令和6年度は、南風原町からの依頼を受けて9月に南風原町カナダ・レスブリッジ市友好姉妹都市締結20周年を記念して同市へ郷土芸能部員8名を派遣し、同市役所で開催された記念式典において琉球舞踊を披露し交流を図りました。同じく9月の町敬老会、11月の第22回はえばるふるさと博覧会で、琉球舞踊・民謡で会場を盛況でした。令和7年度も令和5年度と同様に計画しており、戦後80年を迎える6月23日の慰霊の日は、南風原町共催による平和コンサート「命どう宝」を開催し、約200名の来場があり、恒久平和を誓いました。

### 糸満市文化協会

### 会長 仲宗根玲子 / 事務局長 長嶺 茂 (上原 康)

沖縄戦終焉の地となった糸満市は二度と草花は生えてこないほど焦土と化してしまいました。しかしながら、南部地区ではいち早く市井の人々による文化の華を咲かすことができ、平成元年(1989)に糸満市文化協会が発足しました。現在18部会(琉球古典



糸満市児童生徒かきぞめ展

かきぞめの展示

三線、筝、笛、胡弓、太鼓、舞踊、日本舞踊、琉球民謡、カラオケ、着装、フラダンス、組踊、演劇、書道、華道、茶道、美術、手工芸)、会員275人を数えます。糸満市総合文化祭における展示や舞台をはじめ、毎年開催される書道部による「かきぞめ大会」には、600点の作品が数えるほど盛況です。特に、令和6年度は沖縄県文化協会賞授賞式を糸満市文化観光交流拠点シャボン玉石けんくくる糸満で開催し、書道部を演劇部などの協会員によって大会を盛り上げました。

## 久米島町文化協会

### 会長 吉本景正 (盛本 實) / 事務局長 村田香織

令和6年度に開催した第21回久 米島町文化祭に於いて、民俗・伝統 芸能保存部会から久米島町字具志 川の「具志川棒術」が演武し、町民 約200名が観覧し大盛況にて幕を 閉じました。また第13回久米島古 典民謡大会も開催され、島内外か ら8名の参加者が唄三線を競い合 いました。令和7年度は引き続き島



第13回 久米島古典民謡大会入賞者のみなさん



字具志川棒術保存会のみなさん

の伝統芸能を広く知らしめるため島外にも足を運び、久米島の伝統芸能保存継承に注力いたします。

一方、久米島の伝統芸能の担い手の高齢化が進む中、継承者育成が進まない現状を鑑みて、趣味や習い事に時間やお金を割けない子育て世代に興味を持ってもらうには、どのようにしたら良いか暗中模索しております。

島の未来を担う子ども達に伝統芸能を伝えたいという思い(うむい)を、大人達にも伝えていけたらと思います。

# 一般社団法人宮古島市文化協会

### 会長 饒平名和枝 / 事務局長 松谷初美

令和5年度・6年度は、「鳴りとうゆんみゃ~く方言大会」、「市民総合文化祭」、「新春市民書初め会」、「宮古島文学賞」等、全ての事業を実施することが出来ました。その中で特筆すべきは、令和5年度の第28回「鳴りとうゆんみゃ~く方言大会」において、高校1年生が市長賞(最優秀賞)を受賞したことです。宮古方言が消滅の危機にあることを知



第1回「短い物語コンテスト」受賞者 (右から仲間友佑さん(文化協会賞)、 下地希星さん(ひらけこころ!賞)、友利新菜さん(特別賞))



市長賞受賞の友利琉月さん

り、祖父との思い出を交えながら話した内容は見事で会場が湧きました。また、令和6年度は、「宮古島文学賞」の関連事業として、宮古圏域在住の18歳以下を対象とした「U18短い物語コンテスト」の事業を開始しました。島内から応募があり、想像力、表現力の高い作品に子どもたちの潜在能力の高さを実感しました。その中から入賞者3名(最年少9歳)が決定。作品は、本協会のHP(https//miyakobunka.com)にて読むことができます。ぜひご覧ください。

令和6年度文化祭展示部門の様子

# 石垣市文化協会

### 会長 新城知子 / 事務局長 慶田城用有

1994年 (平成6) に発足した石垣市文化協会は、2024年度 (令和6) で30周年を迎えることができました。6年度と7年度の2か年計画で30周年記念事業を実施しております。特に、次世代への文化継承の機会や発表の場を創出することをテーマとした初の「こども文化まつり」は、小中学校の児童生徒による自作演出による催しもので、石垣市民会館大ホールで2025年3月に開催いたしました。石垣市内の合唱、ダンス、芸能、「令和6年度すまむにを話す大会」最年少出場者の方言発表をはじめ、6つの団体と2つの中高校 (川平中学校、八重山高校)の郷土芸能部が出演し、地域の子供たちの潜在力の高さと地域文化の確実な継承の手ごたえを感じるものでした。

当協会は、「芸能の島・石垣」と呼ばれるように106名の部員を擁する民俗舞踊部会をはじめ23部会、延べ314名の会員を数えますが、2025年度の30周年記念事業(文化講演会、すまむにを話す会、記念誌、総合文化祭など)を契機に、地域に密着した草の根的な文化活動の推進をより一層努めていきたいと考えています。



初のこども文化まつり



創立30周年記念式典祝賀会

# 沖縄県北部連合文化協会

令和5·6年度 会長 比嘉康夫 副会長 池宮城秀光 / 事務局長 岸本ちさと 令和7年度 会長 池宮城秀光 副会長 宜野座清徳 / 事務局長 吉田真悟

北部連合文化協会は、平成26年12月

に発足し、北部8市町村文化協会 (国頭村、今帰仁村、本部町、伊江村、名護市、恩納村、金武町、宜野座) で構成されています。 令和6年度で、設立10周年を迎えました。情報交換・交流の場をつくり、どのように事業に取り組んでいるかお互いを知ることで北部・やんばるの連携に繋げ、今後の活動に生かしていきたいと思います。

# 沖縄県中部連合文化協会

中部連合文化協会は、平成7年 (1995) 12月に 発足しました。本島中部所在の10市町村文化協会

は、うるま市、沖縄市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、 宜野湾市、浦添市、西原町で構成されます。

令和5年度は、令和6年2月24日(土)中城村護佐丸歴史資料図書館 見学と、中城城跡巡り、懇談会を開催しました。

令和6年度は、令和7年3月14日(金)アイム・ユニバースてだこホール市民交流室で、文化講演会を開催しました。講師は上間信久氏で、「名護親方の琉球いろは歌一うちなぁんちゅの人生の歩き方、伝え方一」と題して、講演会を開催しました。

令和5年度 会長 仲松正敏 副会長 銘苅良光 令和6年度 会長 銘苅良光 副会長 城間盛久 令和7年度 会長 上原伸浩 副会長 桃原雅子



中部地区合同研修会

## 沖縄県南部連合文化協会

令和 5 年度 会長 新里清文 副会長 根川清義、玉寄英一、與那嶺俊和 / 事務局長 平良友子 令和 6 年度 会長 新里清文 副会長 上地政春、玉寄英一、與那嶺俊和、金城光子 / 事務局長 平良友子 令和 7 年度 会長 玉寄英一 副会長 上地政春、與那嶺俊和、金城光子、照喜名智 / 事務局長 真保栄清美

平成7年 (1995年) 12月に発足し、令和7年現在4文化協会 (南城市文化協会、南風原町文化協会、八重瀬町文化協会、与那原町文化協会) で構成されています。主な事業は南部文化賞や新春歌謡フェスティバル、令和6年9月には第1回南部子ども芸能祭を南風原町中央公民館黄金ホールで開催致しました。

### 自主事業

# 第28回 しまくとうば語やびら大会

第28回しまくとうば語やびら大会は、令和6年2月3日(土)午後1時から4時までうるま市石川会館で16組19名が参加して本島北部、中部、南部、宮古、八重山諸島の多様なしまくとうばの競演で盛況でした。

### 第28回 しまくとうば語やびら県大会 16組 19名



開催日: 令和5年2月3日(土) 場所: うるま市石川会館 出場: 北部4組5名、中部5組 6名、南部3組4名、離島 4組4名

7131	この日 しめ、こうは品(し ラババム	10/11541	
No.	演題	氏名	推薦団体 (文化協会)
1	今帰仁村で驚いたこと	浅井 由紀子	今帰仁村
2	北山学童での成長	与那嶺 璃歩	今帰仁村
3	しまうたとぅあしば	渡口 珠里・豊里 柚杏	本部町
4	学童疎開	桃原 夏子	本部町
5	平和	石原 蒼唯	沖縄市
6	「トゥカートゥカー」から始またるしまくとぅば	長浜 舞華	読谷村
7	ティー (空手)	照屋 泰佳	沖縄市
8	あぎじゃびよ~ な~ な~	真栄城 瑚花・辺士名 綾虹	浦添市
9	おばあとゐーんぐゎーで (おばあと縁側で)	大湾 由美子	読谷村
10	しまぬいちむし	長嶺 ジョン翔生	南城市
11	「黄金言葉」ってすごいね	吉田 涼音·吉田 有紀音	豊見城市
12	まぎでーくに (大きなかぶ)	山川 結萌	南風原町
13	みゃーくふつ ~私の守りたいもの~	友利 琉月	宮古島市
14	「アッチェー アッパーヌ ナラース」 (祖父母のおしえ)	嵩原 ひろこ	石垣市
15	「マリジゥマカイヌ ウムイバ トゥバラーマカイ ヌセーテ」 (故郷への想いをトゥバラーマにのせて)	大浜 もえ	竹富町
16	ディラブディ	與那覇 潤詠	与那国町

### 自主事業

# 第29回 しまくとうば語やびら大会



第29回しまくとうば語やびら大会は、令和7年2月8日(土)午後1時から4時まで中城村の吉の浦会館で開催されました。16組21名が各地のしまくとうばの熱弁をふるいました。

### 第29回 しまくとうば語やびら県大会 16組 21名



開催日:令和7年2月8日(土)

場 所:吉の浦会館

出 場:北部3組3名、中部4組6名、

南部4組4名、離島5組8名

No.	演題	氏名	推薦団体 (文化協会)
1	おばあぬ しまくとぅば	島尻 照子	読谷村
2	私の中学校生活	小波津 晴	与那原町
3	加治道若返り計画?	パーマー・マイケル パーマー・園江	宮古島市
4	塩がいちばんうまい	白井 七海・與那嶺 彩音	伊平屋村教育委員会
5	LGBTでぃしぇ ぬーやが	比嘉 隆夫	北中城村
6	バスケットを通しての成長	島袋 隼瑠	今帰仁村
7	かっちんばーまーのはなし	野島 大源・野島 大舜	うるま市
8	私の家族	城間 香那	与那原町
9	どぅなんくとぅばや ぬてぃか゚ぶ	村本 章	与那国町教育委員会
10	系統 (しじ) 悟 (さとぅ) いへぬ音 (っうとぅ)	島袋 愛菜·谷口 心琉	北谷町
11	我った一学校や恩納ぬ「うんな中学校」	比嘉 琳太	恩納村
12	うさぎとかめ	新里 千紗・根中彩世	竹富町教育委員会
13	心が動いた時がチャンス (ちむぬんじちゃる時がチャンス)	嘉数和子	八重瀬町
14	スマムニに関心を持ったきっかけ	仲間大将	石垣市
15	私とフラ	仲島 凛	南風原町
16	エイサーに思いを込めて	仲村 昊粋	うるま市

# 自主事業 第7回 U-18 島唄者コンテスト

「第7回U-18島唄者コンテスト」はコロナの影響下、予選は動画審査を行い、9月の本選は230名の観客が子どもたちの歌三線に酔いしれました。なお本選は「しまくとうば県民大会」(第一部)として実施されました。



予選 開催日時:令和5年8月16日(水)14:00~16:00

場 所:浦添市ハーモニーセンター1階ホール

出 場 者:17組(8歳(小学2年)~18歳(高校3年生))

本選 開催日時:令和5年9月17日(日)13:00~16:00

場 所:かでな文化センター大ホール

出 場 者:14名

受 賞 者:最優秀賞 與儀杏珠(宮古島市)、優秀賞 兼謝名希実(読谷村)

奨励賞 喜納心春(糸満市)

審 査 員:大工哲弘(審査員長/民謡歌手)、泉惠得(声楽家)、山城亜矢乃(舞踊家) 神谷幸一(民謡歌手)、大城貴幸(古典·民謡音楽家)





優秀賞 兼謝名希実



奨励賞 喜納心春

### 自主事業

# 第8回 U-18 島唄者コンテスト

「第8回U-18島唄者コンテスト」は、遠隔地居住の出演者は、基本的に動画審査を行い、9月の本選は約300人の観客を数え、多くの民謡ファンを魅了しました。なお、本選は「しまくとうば県民大会」第1部のプログラムのひとつとして実施されました。





予選 開催日時:令和6年8月8日(木)14:00~16:00

場 所:アイム・ユニバース てだこホール市民交流室

出 場 者:26組【9歳(小学生3年生)~18歳(高校3年生)】

本選 開催日時: 令和6年9月15日(日) 13:00~16:30

場 所: 糸満市観光文化交流拠点施設シャボン玉けん くくる糸満

出 場 者:16名

受 賞 者:最優秀賞 兼謝名希実(読谷村)、優秀賞 内里美音(那覇市) 奨励賞 田中愛莉(京都市)、審査員特別賞 喜納心春(糸満市)

審 査 員:大工哲弘(審査員長/民謡歌手)、玻名城律子(声楽家)、山城亜矢乃(舞踊家) 山川まゆみ(民謡歌手)、大城貴幸(古典・民謡音楽家)



最優秀賞 兼謝名希実



優秀賞 内里美音



奨励賞 田中愛莉



審査員特別賞 喜納心春

# **自主事業** 沖縄県文化協会賞

沖縄県文化協会は毎年、地域の文化活動に参加し、文化の向上に尽力した個人及び団体に対し、次のような功績の内容について、その功績をたたえ沖縄県文化協会会長が表彰しています。

- 沖縄県文化協会 功労賞……文化活動、振興に著しく功労のあった個人
- 沖縄県文化協会 団体賞……文化活動に実績をもつ団体。

# 自主事業 令和5·6年度 沖縄県文化協会賞受賞式

令和5年度は令和5年12月21日に名護市民会館大ホールで授賞式開催しました。

令和6年度は令和6年12月12日(木)に糸満市文化観光交流拠点施設シャボン玉石けんくくる糸満で開催しました。各年度の受賞者は次のとおりです。

### 令和5年度

### 令和6年度

文化協会名	功労賞	奨励賞	団体賞
今帰仁村文化協会	上原 稲子	田場 盛喜	しまくとぅばで遊ぼう会
本部町文化協会 伊是名 喜久子		田中 博子	
宜野座村文化協会	金武 秀子	浜比嘉 永子	宜野座村文化協会箏曲部会
金武町文化協会	金城 恵美子	小橋川 晃	當山久三ロマン演劇団
うるま市文化協会	平良 幸春	山城 スミ子	うるま市文化協会 華道部
プるより文化励去	上運天 良夫	新里 明美	プラスロスに励去 半足印
沖縄市文化協会	翁長 幸子	松堂 康子	沖縄市文化協会
/ 作的人 10 励去	嘉陽 宗吉	内間 勝美	しまくとぅば部
読谷村文化協会	嘉数 正敬	神谷 みつ子	赤犬子子ども三線・琴・太鼓 クラブ
嘉手納町文化協会	籐山 翔梧	松田 清	民話チームかでな
北谷町文化協会	松田 盛	古堅 和也	北谷町文化協会ウクレレ部
北中城村文化協会	安里 重子	安里 春美	シーサーで景観をつくる会
宜野湾市文化協会	金城 順子	宮里 禮子	ムンジュルの会
且封汽巾人们侧去	金城 てるみ	比嘉 英男	<u> </u>
   浦添市文化協会	真栄田 宗吉	佐久田 江利子	
州州川久门伽云	宇根 和子	渡久山 美智子	
西原町文化協会	城間 良子	宮城 信子	西原町文化協会華道部
那覇市文化協会	赤嶺 勝枝 (羊染)	上地 正隆	那覇市文化協会演劇部会
加朝川文旧伽云	日高 貞子	安田 辰也	加朝川人心伽云/英剧印云
豊見城市文化協会	島尻 ひさみ	金城 信三郎	
八重瀬町文化協会	新城 妙子	神谷 加奈子	八重瀬歌舞団
南城市文化協会	古謝 徳子	玉城 清	南城市文化協会ハワイアン カルチャー部
与那原町文化協会	謝花 公子	喜納 竹子	与那原町しまくとぅばボラン ティアの会・劇団よなばるお ばあQ
南風原町文化協会 金城 清 (竹峰)		野原 由美子	南風原町劇団「海」
糸満市文化協会	長嶺 茂	新垣 奈津江(晴香)	
(一社) 宮古島市	砂川 春美	池田 俊男	
文化協会	与儀 一夫		宮古織物事業協同組合
石垣市文化協会	與那國 久枝	新城 直樹	八重山凧愛好会
計(名・団体)	28名	27名	18団体

文化協会名	7.化協会名 功労賞		団体賞	
今帰仁村文化協会 島袋 チエ子		我那覇 秀子	今帰仁うりずんの会	
本部町文化協会 荻堂 清惠		仲宗根 千秋	しまくとぅば部会	
名護市文化協会 吉元 博昌		山城 啓		
宜野座村文化協会	安次富 寬順	安富 晃	琉球舞踊部会 (宮城豊子琉舞研究所)	
金武町文化協会	大城 初音	前田 直美	金武町少年少女合唱団	
恩納村文化協会	吉山 佳子	照屋 明美	恩納ウシデーク会	
うるま市文化協会	山城 正俊	浜川 恵子	こっナナナルカヘギ/ギャ	
うるより文化励去	福原 美枝	儀保 明美	うるま市文化協会美術部 	
沖縄市文化協会	新崎 恵子	新屋 のり子	童謡部シャボン玉	
/	幸地 良丈	長浜 和子		
読谷村文化協会	山内 春子	比嘉 明美	読谷村文化協会笑三の会	
北谷町文化協会		知念 悦子	日本箏部	
北中城文化協会		与儀 美津江	美術·工芸部	
宜野湾市文化協会	護得久 枝美	当銘 幸子		
且封房间又记册云	村山 典子	北川 佐和枝	琉舞ハニンス	
浦添市文化協会	天久 和子	松本 久子		
用が印入に伽玄	玉城 弘	嶺井 清美		
西原町文化協会	新里 勝弘	川上 栄子	西原町文化協会 写真部会	
那覇市文化協会	濱元 和子 (紅雲)	上原 岳寿	フラワーデザイン	
加朝山太旧伽云	兼元 利津子	仲間 頼子		
豊見城市文化協会	新垣 晃久	宮里 信子		
八重瀬町文化協会	神谷 たか子	金城 初子	YAESE Lover's (ダンス)	
南城市文化協会	西村 利江子	大城 元	東方うちなーぐち会	
南風原町文化協会	大城 守政	赤嶺 スエ子	くがに合唱団	
糸満市文化協会	上原 安子 (東穂)	大城 喜美子(洋苑)		
(一社) 宮古島市	塩川 正子	與那覇 実	琉球古典音楽野村流保存会 宮古島支部	
文化協会	新城 美津枝			
石垣市文化協会	赤山 正子	平良 八重子	表千家不白流 沖縄県支部八重山	
	26名	27名	18団体	

# 受託事業 令和5・6年度 地域伝統文化の継承・発信支援事業

沖縄各地に伝わる伝統芸能等を一堂に集め舞台で上演する事業です。地域の伝統芸能等に対する関心を高め、その価値を見直す機会を提供し、地域文化の継承・発展に寄与するために、国立劇場おきなわで開催しています。地域バランスを配慮し、本島北部、中部、南部、離島の4地区から5演目を選定して県民に無料で公開しました。また、地域を選定し、文化継承のあり方について当事者と実情や課題について討議する座談会「しまdeシンポジウム」を開催しました。



### 第10回 特選沖縄の伝統芸能公演

開催日時:令和5年11月19日(日)午後6時~8時半

会 場:国立劇場おきなわ大劇場

出演団体·演目

市町村	出演団体	演目
宜野座村	宜野座区二才団	蝶千鳥
金武町	金武町並里区伝統芸能保存会	獅子舞
浦添市	前田棒保存会	前田の棒術
糸満市	米須自治会	米須ウシデーク
南大東村    大東太鼓発展期成会		大東太鼓

### シマde シンポジウム(座談会編)

開催日時:令和6年3月22日(土)

会 場:浦添市前田自治公民館

テ ー マ:前田棒×しまくとぅば



### 第11回 特選沖縄の伝統芸能公演

開催日時:令和6年11月24日(日) 午後6時~8時半

会 場:国立劇場おきなわ大劇場

出演団体·演目

市町村	出演団体	演目
大宜味村	大宜味村謝名城区	七福神
浦添市	仲西獅子舞保存会	仲西の獅子舞
那覇市	首里クェーナ保存会	首里クェーナ
八重瀬町  東風平棒術保存会		東風平の棒術
石垣市    大浜村古謡愛好会		角皿 (スヌザラパーシィ)

### シマde シンポジウム(座談会編)

開催日時:令和7年3月2日(日)午後2時~4時

会 場:浦添市仲西公民館

テ ー マ:仲西獅子舞×しまくとぅばー次代につなげる地域の伝統ー

※公民館に収容できる観客を入れるとともに、YouTube配信を行う。

※沖縄県文化協会のWEBサイトのYouTubeチャンネルでは過去公演の「特選沖縄の伝統芸能」の演目ごとの動画と「シマdeシンポジウム」をご覧いただけます。



# 受託事業 令和5年度 しまくとうば普及センター運営事業

項目	事業内容			実 績
総合窓口	情報提供	総合窓口 概要・概況	年間149件	・電話やメール等で企業や語学研究の大学生等からの疑問質問に対応した。 ・企業からの要望により、JTAの機内放映の紙芝居のしまくとうば監修、沖縄都市モノレールの駅 構内でしまくとうばでのアナウンス監修などを実施した。 ・国内外、県内外の個人・法人からのご質問には、文献などを引用し、解りやすく丁寧な回答を心 掛けた。 ・そのほかの疑問質問等は、検定の学習手段のお問合せ、普及の提案等県内外のみなならず、外国 からのお問合せなどにも真摯に対応した。 ・当センターでは、言語学者のセンター長はじめ、しまくとうばや琉球歴史に詳しいスタッフがきめ 細かな対応を実施した。
Ö			フェイスブック記事	当センターや各文化協会のイベントをニュースとして紹介、コラムでは、中南部を中心としたしまくとうば単語の紹介など年間172件の記事を投稿。フォロアー数1400件
		SNSによる 情報提供	エックス (旧ツイッター)	しまくとうば普及継承活動のためにしまくとうば関連の情報を紹介など 138回投稿。フォロアー数404件
			インスタグラム	しまくとっぱ普及継承関連の情報やフライヤー・リーフレット、おすすめの本を紹介など62回投稿。 ファロワー数41件
	データ四	人材バンク	令和5年度 登録者92人 登録団体7団体	・令和5年度は17人がしまくとうば講師養成講座八重山上級を修了し、16人が認定者となった。 ・認定者となったら、しまくとうば人材バンクに登録することは必須であることを周知していなかったので全員の登録にいたっていない。(5人が未登録)
人材バンク	夕収集と提供	情報交換会	第1回 48人参加 第2回 49人参加	・沖縄本島北部、中部、那覇南部3地域で各2回の会議を実施した。 ・1回目は普及センターの今年度の年間行事予定とその説明を行い、各文化協会の現状と活動計画を発表し情報を共有した。 ・2回目は地域ごとに行われる語やびら大会の役割分担と活動報告と意見交換等を行った。
ンクの設置及び活用	派遣	講座・モデル事業	派遣講座 7件	人材バンクあてに相談を頂いてから、コーディネートを行いマッチングする。派遣の場合は原則受益者負担で講師派遣を行ってもらった。
及び			モデル事業 5件	人材バンクを活用してしまくとぅばの普及に効果的と思われる事業を行った。
5活用	講師養成	第3期	八重山上級	・24コマ (1コマ90分) の授業を行った。 ・17人が受講し16人が認定を受けた。石垣市大川の結心センターでは受講生を募り、6人の卒業生 が公開授業実施した。
	講演が	第4期	宮古初級	・31コマの授業を行った。 ・38人が受講し21人が初級認定を受けた。
桧	検定	しまくとぅば検定	受験者受付定員105人	沖縄市商工会議所ホールを検定会場に設定し、試験当日は受験者90人(出席率86%)で試験を実施した。
検定・学習	Eラーニング		読谷村儀間編	「いつでも、だれでも、どこからでも、学べるEラーニング」の学習の形態をつくった。インターネットを通して、テキスト1課〜4課をAコースとして第1弾は読谷村儀間編を公開した。また、登録して受験できる、しまくとうばテストを作成し学んで、学習成果を計れる環境を整えた。
自 	しまくとうば検定 検討委員会		しまくとぅば検定 検討委員会	令和5年度の検定から内容を刷新し、「級」を廃止して、得点によってレベルが決まるスコア方式を 導入した。
	黄金言葉カレンダー		黄金言葉と絵を公募し、 カレンダー作成	黄金言葉を一般公募し、絵画は沖縄県下全域の県立高等学校に公募した。QRコードを付けて音声が聞けるように作成した。カレンダー2800部作成し、県内の小中高校等へ配布した。
	しまくとぅば五十音表		五十音表作成	18,000部を増刷しひらがなカタカナを履修した県内の小学校1年生全員に向け、沖縄県内すべての小学校に配付した。
			ゲームアプリの作成	しまくとっぱを知らない幼児・児童でも遊びながら単語を覚えることが出来るようなゲームアプリ を作成し運用している。フライヤーを作成し、イベント等で告知した。
そ			Webサイトの改修	Eラーニングの開始に伴い、専用ページを増設し、トップページにもバナーを置くなどアクセスしやすいような工夫をした。
の他			JTA機内映像の監修	昨年に続き、機内で放映する昔話の動画「雨蛙不幸」の監修を行った。
晋 及 啓			沖縄都市モノレール コンコース放送	平日、正月、慰霊の日、お盆、大晦日、それぞれに合わせた言葉を提案した。沖縄都市モノレールの 職員にしまくとっぱの指導をして、収録の監修をし、駅のコンコースでアナウンスしている。
その他普及啓発事業	その他普及啓発事業		危機言語サミット への参加	与那国で開催された文化庁主催の「令和5年度 危機的な状況にある言語・方言サミット(与那国島)」でサミット前日に与那国の小学生に講師養成講座認定者の授業を実施したほか、ブースでしまくとっぱ普及センター事業を紹介した。
			台湾視察	台湾の原住民族に対する国の保護の政策や施策のあり方を視察した。
			県民大会	県民大会第1部ではU-18 島唄者コンテストで島唄 (沖縄民謡) を通してしまくとうばを学び広げる取り組みを行った。沖縄本島北部、中部、那覇・南部、八重山でしまくとうばの地区大会を開催し、選抜者によって県民大会第2部でしまくとうば語やびら大会を開催し、多様なしまくとうばの魅力を発信した。
			しまくとぅば文化講座	しまくとうばナビの動画コンテンツとして、しまくとうばに関する楽しみながら見ることが出来る教養講座を作成した。

# 受託事業 令和6年度 しまくとうば普及センター運営事業

項目	事業内容			実績		
総	情報提供	総合窓口 概要・概況	年間99件	・総合窓口は、しまくとっぱに関する相談の窓口として、小・中・高校の学生から高年齢の方々迄幅 広い年齢層の方にご利用いただいた。 ・しまくとっぱ普及への意見・提案、県の政策に対する苦情、人材派遣の依頼、しまくとっぱの表現 に対する質問などがあった。 ・研究者や学生からインタビューの依頼が増えてきた。 ・また事業についての質問が多く、その他言葉の意味を知りたい、読本やセンターの発行した冊子 が欲しい、という問い合わせが多かった。 ・その他正書法について、首里言葉を学びたいので講座を紹介した。		
総合窓口		SNSによる	Webサイト 「しまくとぅばナビ」	しまくとぅば普及センターのメインサイトとして、ニュースやイベントのお知らせ、ゲームやEラーニングなど、様々な情報を提供した。		
			フェイスブック記事	フェイスブックにしまくとぅばの単語やイベントの告知など、年間176件の記事を掲載した。地区のしまくとぅば団体の情報交換会で、記事の情報提供を行った。		
		情報提供	エックス(旧ツイッター)	しまくとぅば普及継承活動のためにしまくとぅば関連の情報を紹介など 間135回投稿。フォロアー数135件		
			インスタグラム	しまくとっぱ普及継承関連の情報やフライヤーやリーフレット、おすすめの本を紹介など165回投稿。ファロワー数165件		
人材バ		人材バンク	令和6年度登録 個人 108名 団体 11団体 原則年度ごとに登録更新	・人材バンクの様式等を整備し、より実効性のあるものに見直し、講師等の要望に1件ずつ丁寧に応えながら、登録人材の充実を図った。		
ハンク	汇准	=# ch	派遣講座 9件	依頼に対して人材バンクを活用して講師を派遣した。		
クの	派追	講座・モデル事業	モデル事業 8件	人材バンクを活用して普及に効果的と思われる事業を実施した。		
の設置及び活用	講師養成講座	第4期	宮古 中上級	・昨年度に続き、中上級コースを設定し、受講者20名、修了者14名、中上級認定者14名、認定者の中から4名が小学生向けの講座の講師として授業を実施した。		
び活	(講) 産ば	第5期	沖縄前期	受講者67名、修了者52名、試験合格者42名		
用	ス	キルアップ講座	スキルアップ講座	1期生・2期生対象に3回(6日間)の講座を実施した。		
	活動	情報・ヒアリング	活動情報・ヒアリング	人材バンクの運用につなげるため、学校や地域で実施している講座などを訪問し聞取りを行った。		
	検定	しまくとぅば検定	受験者受付82人	得点でランクを測る形で実施。200点満点で偏差値60以上はレベルA、50以上はレベルB、40以上はレベルCにランク付を行った。		
検定・学習	Eラーニング		Eラーニング 2233アクセス、 登録113名 (3月31日時点)	・どうやって学べばよいかとの問い合わせも多く寄せられており、それらを解消するため学べる動画を作成し、その成果を測るテストを用意した。 ・学べる動画はしまくとぅばナビのYouTubeチャンネルに置き、「いつでも、だれでも、どこからでも」学べて、ダウンロードして使える練習問題も用意した。学んだ人向けに申し込んで登録して受けられるテストを用意し、テストは年に2回受けることができるようにした。		
	しまくとうば検定 検討委員会		しまくとぅば検定 検討委員会	令和5年度の検定から内容を刷新し、「級」を廃止して、得点によってレベルが決まるスコア方式を 導入した。		
	黄金	会言葉カレンダー	黄金言葉と絵を公募し、 カレンダ作成	・2.509部を県内の小・中・高校に配布した。 ・黄金言葉は一般公募し応募54点、絵は高校に公募し358点の応募があった。 ・音声も付けてQRコードから聞けるようにした。また、購入希望などが多数あるため、アンケート に答えて黄金言葉カレンダーがもらえるというプレゼントキャンペーンを実施した。		
	しまくとぅばサミット		第1回 しまくとぅばサミット	1月19日に吉浦会館を会場に、各地域で活動している団体の取組事例について4団体が舞台発表した。また、製作物や活動記録など9ブースを展示。また、楽しみながら、若年層にも興味を持ってもらえるよう、歌謡曲や演歌をシマクトゥバに訳して歌う、「シマクトゥバ訳カラオケ歌おう会」を実施し6組7名が舞台で歌を披露した。		
その他普及啓発事業	情報交換会		第1回 42人参加 第2回 56人参加 第3回 32人参加	・沖縄本島北部、中部、那覇南部3地域で各3回の会議を実施した。 ・1回目は普及センターの今年度の年間行事予定とその説明を行い、各文化協会の現状と活動計画を発表し情報を共有した。 ・2回目は地域ごとに行われる語やびら大会の役割分担と活動報告と意見交換等を行った。 ・3回目は今年度の反省と意見交換をおこなった。		
<b>啓発事業</b>			ノベルティグッズ による普及	<ul> <li>・紙製のコースターにイラストと5地域の単語、QRコードを付け、単語の発音が聞けるようにしてイベント等で配布。</li> <li>・50音表をクリアファイルで作製した。</li> <li>・単語とイラストを印刷した手ぬぐいなどを製作し、イベントや、Webゲーム高得点クリアの景品として配布した。</li> </ul>		
			危機言語サミット への参加	八丈島 (東京都) で開催された文化庁主催の危機言語サミットに、ネイティブ話者を派遣するとともに、ブース展示を行いEラーニングや講師養成講座事業への注目を集めた		
			県民大会	県民大会第1部ではU-18島唄者コンテストで島唄 (沖縄民謡) を通してしまくとうばを学び広げる取り組みを行った。沖縄本島北部、中部、那覇・南部、八重山でしまくとうばの地区大会を開催し、選抜者によって県民大会第2部でしまくとうば語やびら大会を開催し、多様なしまくとうばの魅力を発信した。		